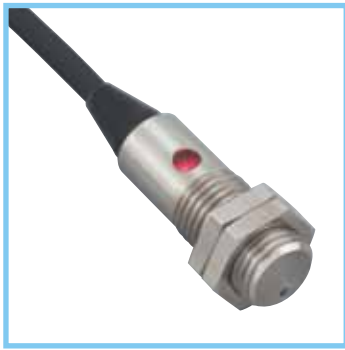


# 磁気近接センサ

RoHS2対応

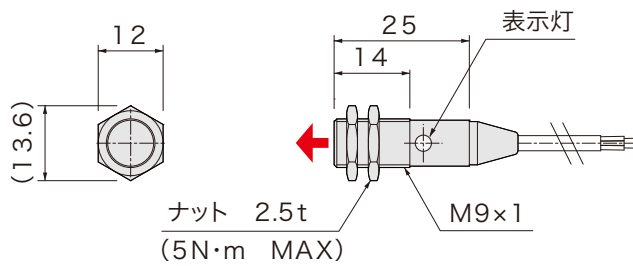
4線式



品番指定

## AHM025

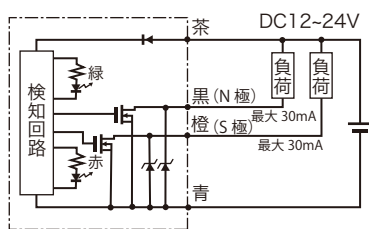
外形図



仕様

電源電圧	DC12～24V
検出磁極	S極/N極
磁気感度	S極：0.4 (±0.05) mT N極：0.3 (±0.05) mT
磁気検出向き	前向き
出力仕様	Nch オープンドレイン
出力電流	30mA MAX
消費電流	30mA (非動作時 10mA)
応答時間	50m sec
耐電圧	AC1000V (1分間・充電部一括・ケース間)
絶縁抵抗	DC250V (メガにて 20M以上・対ケース間)
使用周囲温度	-20°C～+85°C (結露なきこと)
使用周囲湿度	20～95%RH
ケーブル仕様	4芯 φ3.1×1m 黒
ケース材質	SUS303 ねじタイプ
取付	M9 ナット締付トルク 5N・m
取付穴加工寸法	φ9 <sup>+0.5</sup> <sub>0</sub>
表示灯	S極：赤色 N極：緑色
保護構造	IP67

回路図

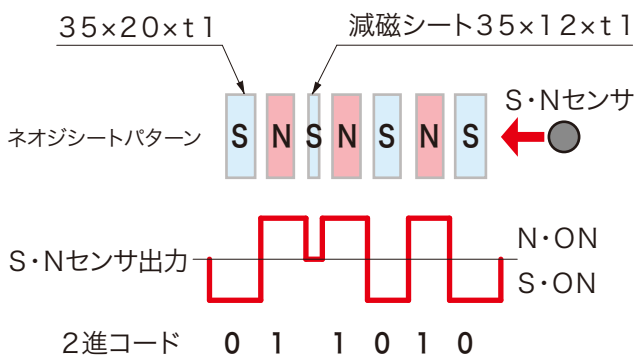


## AHM025/ 活用法

- 用途**
- ①耐環境、高感度磁気近接センサ
  - ②自動倉庫内の移動体の検出・停止位置
  - ③搬入か搬出かの認識センサ (S→Nが搬入、N→Sが搬出、など)

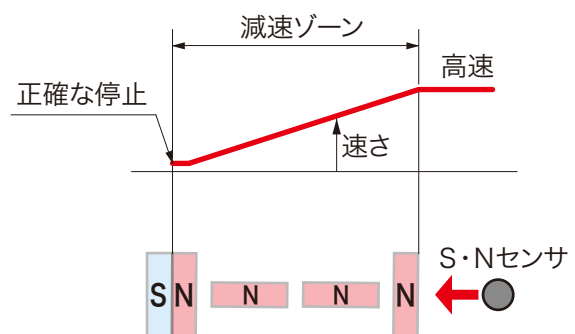
### 活用事例

#### 1.自動走行運搬車の番地センサ



工場の床に磁気ガイドとしての磁気テープを貼り付け、番地コードを設置し、このコード読み取りにAHM025を使用します。例としてS極を0、N極を1として2進パターンを並べます。同磁極が並ぶ時には反対磁極を減磁シートとして置く事で、磁場の連続性をなくします。1つのセンサで読み取るので、S信号とN信号を重複して読むことはないのが特徴です。

#### 2.高速移動体の走行システム



高速移動体の減速信号と、正確な停止位置を得るためにAHM025を使用します。N極を減速を示す信号とし(S極を選択する事も出来ます)、停止位置にSとN両シートを並べて配置します。移動体の減速距離はその慣性質量と速度により異なりますが、シートを横向きに置く事でコストダウン出来ます。床面とセンサのギャップが30mmでも繰り返し精度は±0.1mmで、正確な停止信号が得られます。